学会参加者へのご案内

1．総合受付

学会参加受付は下記の通り行います。

	受付場所	11月24日（木）	11月25日（金）	11月26日（土）
受付①	沖縄コンベンションセンター 劇場棟　ロビー	10：00～17：30	8：00～17：30	8：00～14：00
受付②	カルチャーリゾート フェストーネ　ロビー	10：00～17：30	8：00～17：30	8：00～14：00

※会期中の新規入会および年会費の手続きは受付①の「新入会年会費受付」のみとなります。

2．学会参加費

参加区分	参加費
医師・企業・一般	11,000円
メディカルスタッフ（看護師、薬剤師、検査技師）	9,000円
学部学生（※学生証をご提示ください）	無料
会員懇親会	3,000円

※大学院生の参加費は、上記職種（医師・他、メディカルスタッフ）に準じます。

【事前に参加登録・参加費納入がお済の方】
・学会参加証、ネームカードケースにつきましては事前に郵送いたします。
・学会参加証の再発行は行いません。必ず当日会場にお持ちください。

3．プログラム・抄録集

会期中、受付①にて1冊2,000円で販売いたします。
数に限りがございますので、会員の方は必ずご持参いただきますようお願い申しあげます。

4．会員懇親会

学会2日目 11月25日（金）18：30より、ラグナガーデンホテル1F「プールサイド」にて開催いたします。
参加費は3,000円です。
※雨天時はラグナガーデンホテル２Ｆ　「羽衣の間」にて開催いたします。

5．クローク

受付時間は下記のとおりです。

	場所	11月24日（木）	11月25日（金）	11月26日（土）
クローク①	沖縄コンベンションセンター 劇場棟　ラウンジ	10：00～18：30	8：00～18：20	8：00～15：30
クローク②	カルチャーリゾート フェストーネ　ロビー	10：00～18：30	8：00～18：20	8：00～15：30

6．写真撮影・ビデオ録画について

会期中、発表演題に関する写真撮影・ビデオ録画は一切禁止いたします。

7．ランチョンセミナーおよびフェストーネ・ランチョンセミナー整理券配布について

ランチョンセミナーおよびフェストーネ・ランチョンセミナーは、整理券制です。セミナー開催日当日分を、各日お一人様1枚限り、先着順で発券いたします。なくなり次第終了となりますので、ご了承ください。なお、整理券はセミナー開始10分後に無効となります。（セミナー開始10分後、会場内に席が残っている場合は整理券の有無によらず先着順での入場となります）

整理券の配布日時・場所は下記のとおりです。

配布場所	配布時間	
	11月25日（金）	11月26日（土）
沖縄コンベンションセンター 劇場棟　ロビー　受付横	8：00 ～ 12：00	8：00 ～ 11：50

※フェストーネ・ランチョンセミナー整理券も、劇場棟ロビーでの配布となります。

8. 単位取得

第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会および第64回日本化学療法学会西日本支部総会の参加者は下記制度の単位を取得することができます。

1）日本感染症学会専門医制度更新　5単位
　筆頭演者は更に　3単位
2）日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医認定制度　5単位
3）日本化学療法学会抗菌化学療法認定歯科医師・指導医認定制度　5単位
4）日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師制度　5単位
5）ICD制度協議会更新　5単位
　筆頭演者は更に　2単位
　※学会参加証（ネームカード）は1）～5）の申請に必要ですので大切に保管してください。
　　合同開催のため学会参加単位は、3回分とはカウントされません。
6）日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定シール　11月24日（木）　3単位
　　11月25日（金）　4単位
　　11月26日（土）　3単位
　※規定のシールを配布しますので、必要な方は受付①（沖縄コンベンションセンター劇場棟ロビー）にお越しください。
　交付時間：
　11月24日（木）　10:00 ～ 17:30
　11月25日（金）　 8:00 ～ 17:30
　11月26日（土）　 8:00 ～ 14:00

9. 日本感染症学会指導医講習会

・シンポジウム1　「抗菌薬TDMガイドライン2016」
　11月24日（木）12:50 ～ 14:50　第1会場

・シンポジウム2　「カルバペネム耐性腸内細菌の危機管理」
　11月25日（金）14:15 ～ 15:55　第1会場

参加者10単位
事前申し込みは必要ありません。講習会開始10分前から会場前にて参加票を配布します。

10. 抗菌化学療法認定医制度審議委員会が指定するプログラム（日本化学療法学会）

・パネルディスカッション3　「Antimicrobial stewardship programの実践」
　11月26日（土）13:30 ～ 15:10　第1会場

参加者10単位
事前申し込みは必要ありません。プログラム開始10分前から会場前にて参加票を配布します。

11. 抗菌化学療法認定薬剤師認定委員会が指定したプログラム（日本化学療法学会）

・ワークショップ１　「薬剤師は病院感染症診療のどこまでコミットできるか」
　11月26日（土）9:00 ～ 11:00　第２会場

参加者10単位
事前申し込みは必要ありません。プログラム開始10分前から会場前にて参加票を配布します。

12. 第19回症例から学ぶ感染症セミナー

11月25日（金）14:15 ～ 16:10　第２会場
参加には事前申し込みが必要です。日本感染症学会ホームページからお申し込みください。（電話、ファックス等による受付はいたしません）
※当セミナーは日本化学療法学会抗菌化学療法認定医・指導医制度「審議会が推薦する抗菌薬適正使用に関するプログラム（5単位）」に該当いたします。
日本感染症学会　URL: http://www.kansensho.or.jp/

13. 第41回日本化学療法学会抗菌薬適正使用生涯教育セミナー

11月24日（木）9:00 ～ 12:00　第２会場
参加者　15単位
参加には事前申し込みが必要です。日本化学療法学会ホームページをご確認いただき、ファックスまたは郵便にて抗菌化学療法認定医認定制度審議委員会宛にお申込ください。お電話での受付はいたしません。
日本化学療法学会　URL: http://www.chemotherapy.or.jp/

14. 第246回ICD講習会

11月26日（土）16:00 ～ 17:30　第１会場
参加には事前申し込みが必要です。ICD制度協議会ホームページからお申込みください。

15. 第59回日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞のご案内

第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会では40歳以下（発表当日）の筆頭発表学会員を学術奨励賞の授与対象としています。

日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞内規

平成11年10月22日制定
平成14年11月　9日改定
平成26年　4月　3日改定
平成27年10月15日改正

1．選考対象者および受賞者

受賞者については当該の中日本地方会総会で発表された一般演題のうち、基礎分野と臨床分野から40才以下の演者を選考対象とし、その中から各1名以内をえらぶものとする。ただし、すでに学会誌等に受理された内容の演題は選考対象としない。

2．選考方法

選考対象演題が入っているセッション毎に座長並びに会長が選任する1名の選考委員計2名が点数方式で当該演題を採点し、基礎分野と臨床分野の別にもっとも高い点数を得た演者をそれぞれの受賞者とする。なお同点のときは会長が判定することとし、また受賞に値する演題がないと判断されたときは、該当者なしとする。

選考対象演題が想定数を超えるまたはその他の理由のために、学会期間中に円滑に選考することが困難と想定される場合においては、会長の判断により、プログラム委員等が事前に抄録を査読するなどの方法により選別された演題について、中日本地方会学術奨励賞選考セッションを構成し、審査・選考対象とする。

3．表彰

次年度の中日本地方会総会において、選考した当該会長が表彰状と副賞を授与する。

4．副賞

副賞は賞金とし、1名につき10万円とする。賞金の原資ならびに諸経費については特別会計を充てる。

5．受賞者の義務

受賞者は次年度の中日本地方会総会の抄録集に1500字程度の抄録を掲載するものとする。また受賞者はできるだけ早い機会に学会誌等に投稿し、その論文に本学会の学術奨励賞を受賞した研究であることを明記するものとする。

16. 第58回日本感染症学会中日本地方会学術奨励賞受賞講演

＜基礎部門＞

「緑膿菌がⅢ型エフェクター ExoSを上皮細胞内に注入するために必要なⅣ型線毛のメカニズム解析」
林　直樹（京都薬科大学　薬学部　微生物・感染制御学分野）

＜臨床部門＞

「愛知県下における血液培養検査の実施状況および各種細菌の検出状況に関する多施設調査」
井口　光孝（愛知県院内感染ネットワーク委員会）

17. 日本化学療法学会西日本支部支部長賞および支部奨励賞のご案内

日本化学療法学会西日本支部総会では2006年度より、下記の要綱に従い、西日本支部支部長賞および支部奨励賞を選定いたしております。

日本化学療法学会西日本支部支部長賞・支部奨励賞要綱

（目的）

第一条　日本化学療法学会西日本支部（以下、化療西支部と略す）は、学術集会の活性化を目的として、化療西支部総会で発表された一般演題を基礎演題と臨床演題とに分け、それぞれの中から、最も優秀な演題に日本化学療法学会西日本支部支部長賞（以下、支部長賞と略す）および賞金、次点に日本化学療法学会西日本支部奨励賞（以下、奨励賞と略す）および賞金を授与する。支部長賞および奨励賞とも、2題ずつが選考される。

（対象）

第二条　受賞の対象は、日本化学療法学会会員で、当該年の日本化学療法学会西日本支部総会で発表した一般演題とする。同一個人は2回まで受賞できる。

（賞金）

第三条　1. 賞金は、当該年度の化療西支部予算の範囲内とする。
2. 支部長賞は1件15万円、奨励賞は1件10万円を授与することとする。

（選考）

第四条　選考は、複数の当該化療西支部総会プログラム委員および同会長が指名する審査委員による審査結果を基に会長が決定する。選考結果は、当該総会終了後の日本化学療法学会雑誌に掲載するとともに、ホームページに公開する。

（受賞に対する義務）

第五条　1. 受賞者はその研究成果を日本化学療法学会雑誌、Journal of Infection and Chemotherapy または、他の学術雑誌のいずれかに投稿する。日本化学療法学会雑誌以外の雑誌に投稿した場合は、その原著が受け付けられた時点で、1600字程度の概要を日本化学療法学会雑誌に載せる。
2. 本賞を受けた研究を原著にする際には、受賞した旨を、付記する。

（実施）
第六条　本要綱は、2006年12月に制定し、2006年度の第54回西日本支部総会から実施する。

（附則）
本賞の受賞対象者は、学会発表の時点で40歳以下の者とする。この附則は2013年度の第61回日本化学療法学会西日本支部総会から適用する。

18. 第10回（第63回日本化学療法学会西日本支部総会：三笠桂一会長、2015年、奈良）受賞演題

日本化学療法学会西日本支部　支部長賞

＜基礎部門＞

「アジスロマイシン予防投与による緑膿菌肺炎の重症化抑制」
賀来　敬仁（長崎大学病院検査部）

＜臨床部門＞

「腎機能低下患者におけるテイコプラニン初期投与設計：高用量負荷投与の有用性」
植田　貴史（兵庫医科大学病院感染制御部）

日本化学療法学会西日本支部　支部奨励賞

＜基礎部門＞

「LAMP法によるカルバペネマーゼ産生アシネトバクター迅速検出法の開発」
中野　竜一（奈良県立医科大学微生物感染症学講座）

＜臨床部門＞

「細菌叢解析法を用いた細菌性肺炎におけるMRSAの臨床的意義の解析」
川波　敏則（産業医科大学医学部呼吸器内科学）

19. 日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞のご案内

日本化学療法学会西日本支部総会では2009年度より、下記の要綱に従い、西日本支部活性化委員会特別賞を選定いたしております。

日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞要綱

（目的）
第一条　日本化学療法学会西日本支部（以下、化療西支部と略す）は、その学術集会の活性化を目的として、化療西支部総会で発表された一般演題から、優秀な演題1題に日本化学療法学会西日本支部活性化委員会特別賞（コメディカルを対象）として賞状ならびに副賞として賞金を授与する。

（対象）

第二条　受賞の対象は、日本化学療法学会会員が当該年の化療西支部総会で発表した一般演題とする。但し、受賞者はコメディカルすなわち、薬剤師、看護師、臨床検査技師などに限定する。同一個人は2回まで受賞できる。

（賞金）

第三条　賞金は、当該年度の化療西支部予算の範囲内として、15万円を授与することとする。

（選考）

第四条　選考は、複数の当該化療西支部総会プログラム委員、日本化学療法学会西日本支部活性化委員会委員および同会長が指名する審査委員による審査結果を基に、会長が決定する。選考結果は、当該総会終了後の日本化学療法学会雑誌に掲載するとともに、ホームページに公開する。

（受賞に対する義務）

第五条　1. 受賞者はその研究成果を日本化学療法学会雑誌、Journal of Infection and Chemotherapyまたは、他の学術雑誌のいずれかに投稿する。日本化学療法学会雑誌以外の雑誌に投稿した場合は、その原著が受理された時点で、1600字程度の概要を日本化学療法学会雑誌に載せる。

2. 本賞を受けた研究を原著にする際には、受賞した旨を、付記する。

（実施）

第六条　本要綱は、2009年10月に制定し、2009年度の第57回日本化学療法学会西日本支部総会から実施する。

（附則）

本賞の受賞対象者は、学会発表の時点で40歳以下の者とする。この附則は2013年度の第61回日本化学療法学会西日本支部総会から適用する。

20. 日本化学療法学会西日本支部活性化委員会　特別賞

第7回（第63回日本化学療法学会西日本支部総会：三笠桂一会長、2015年、奈良）受賞講演

「肝胆膵major surgeryにおける手術部位感染（SSI）の発生リスク因子の検討」

藤原　昌美（兵庫医科大学病院薬剤部）